

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成15年 5月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.6



県の巨樹100選に選ばれている日之影町諸和久のカツラ（幹周18.8m、樹高35m、推定樹齢370年、所有者 尾形健一氏）



遊歩百選に選ばれている石仏の里「横手の庚申塚」(高千穂町浅ヶ部)

「ひむか神話街道」まもなく全線開通!

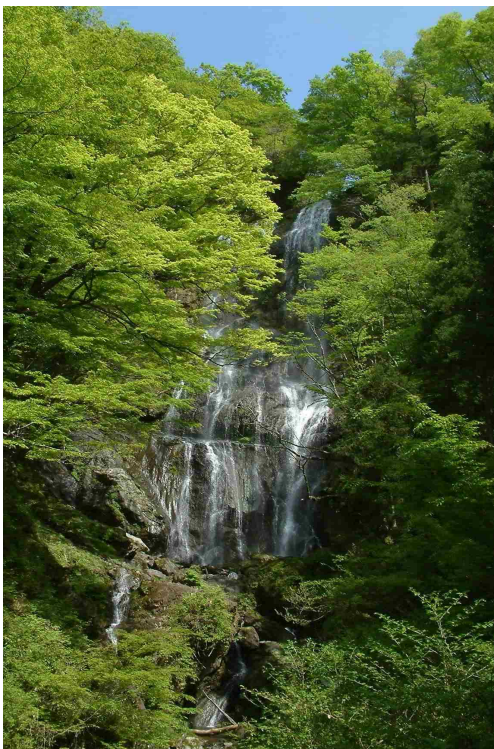


高千穂神社の神殿

新しい広域観光ルート「ひむか神話街道」が、6月8日(日)に全線開通します。
ひむか神話街道は、北の高千穂から南の高千穂(高原町)までの14市町村を結んだ約300kmのルートです。
開通に向け西臼杵管内では、道路標識やガイドパネルを新たに設置するほか、沿線となっている石仏の里「浅ヶ部地区」ではルートマップの作成や焼山寺の「おこもり堂」の改築、また、五ヶ瀬町の白滝では、駐車場の整備が行われるなど、受け入れの準備が着々と進んでいます。



新しく設置された説明板



五ヶ瀬町鞍岡の新名所「白滝」



改築された「おこもり堂」(焼山寺)



天岩戸神社の手力雄像



NHK連続ドラマ「女神の恋」のロケが行われた神楽殿(天岩戸神社東本宮)

県内有数の観光スポット 高千穂峡の遊歩道を再整備

高千穂峡の遊歩道再整備工事が、平成15年3月に完了しました。

この遊歩道は、平坦部・階段部共にコンクリート舗装でしたが、老朽化が進んだため、平坦部は、排水性に優れ、景観にも配慮した淡い緑色の舗装に、階段部は、石を張った舗装としました。



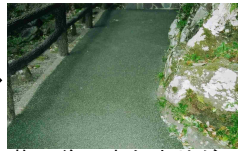
整備された遊歩道で写真を撮る観光客（高千穂峡）

今回の整備により、県内有数の観光スポットである高千穂峡が、より快適に散策できるようになりました。

○遊歩道の舗装工事(コンクリート舗装→景観透水性舗装)



施工前。老朽化し、雨の日などは特にすべり易くなっていました。



施工後。水たまりがでにくく、滑りにくい素材を使っています。

○階段の舗装工事(コンクリート舗装→石張舗装)



施工前。アスファルトを被せて補修していましたが、壊れているところもありました。



施工後。鉄平石を張り景観性を高めています。

九州自然歩道緊急再整備事業（生活環境課の補助事業）
工事費＝約19,000千円。整備区間＝あらぎの茶屋～ポート乗り場。今年度は祖母山系の親父山付近を整備する予定。

かめやまじょうはし 亀山城橋まもなく完成!



今年7月に完成予定の亀山城橋



橋の架設には、ロアリング工法を採用（平成14年7月撮影）

県営広域農道整備事業西臼杵2期地区では、高千穂町の岩戸川に亀山城橋を建設中です。今年7月の完成をめざし、工事を進めています。

橋名板は、岩戸小6年生戸高久恒君、4年生足立和香奈さん、岩戸中3年生佐藤優気君、2年生甲斐匡君の4人に書いてもらいました。

この橋が完成すると、野方から大野原間が車で10分程度短縮されます。

今後は、農道としてだけでなく、小・中学生の通学路にも活用が期待されます。

「亀山城橋のデータ」

橋長：135m アーチ支間：105m
水面からの高さ：90m
構造形式：鉄筋コンクリート固定アーチ橋
架設工法：ロアリング工法
総事業費：約6億6千万円

西臼杵の農林作物を野生鳥獣の被害から守ろう!

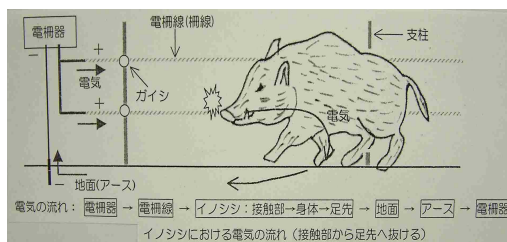
県では、野生鳥獣と人の共存を図り、イノシシやシカによる農林作物の被害を防止するため、市町村と連携して電気防護柵を設置費用に補助をしています。



電気防護柵



イノシシに荒らされた田んぼ



電気防護柵のしくみ

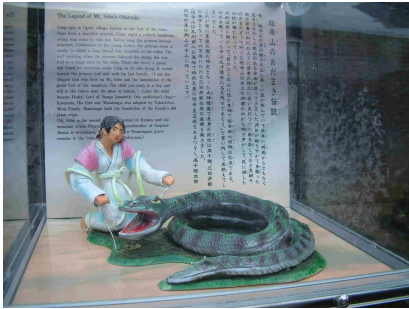
この電気防護柵は、イノシシ等に電気がショックを与え、痛みを認識させることで、農林作物に近づかないようにさせることができます。

近年、水稲や飼料作物、栗、椎茸等の被害が増えていることから、野生鳥獣の被害防止に努めています。

トピックス

観光客に人気の「神話モニュメント」出現！

【新ひむかづくり運動】
（高千穂の神話・民話スポット設置事業）



祖母山のおだまき伝説



あまのいわと



天孫降臨の地・高千穂



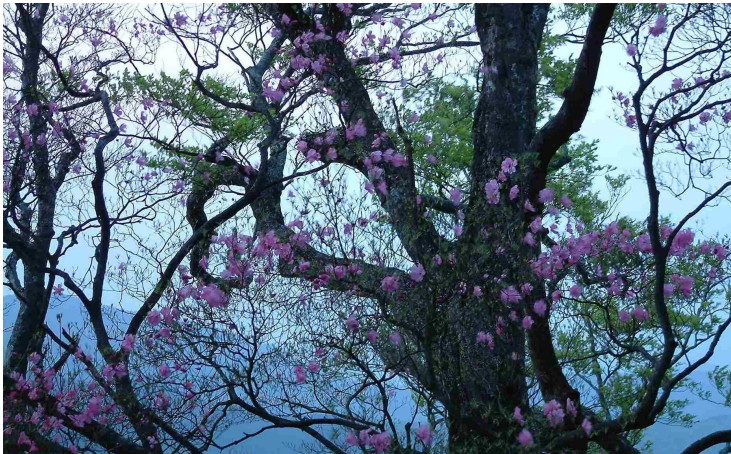
霧宮鬼八



旅館の前に設置された神話モニュメント

高千穂町の稲千穂会（小野正道代表 12名）のメンバーが、メイン通りの旧国道218号沿いの歩道に神話手作りのモニュメント10体を設置しました。「あまのいわと」「祖母山のおだまき伝説」など日向神話や地元で伝わる民話を題材につくられています。わかりやすい説明文（英訳付）もつけられ、観光客にも好評です。

5月の西臼杵を彩る新緑と花々



幻想的なアケボノツツジ（六峰街道）



霧立越の新緑



霧立越のシャクナゲ

編集後記

表紙の写真は、日之影町の見立深谷に行く途中で撮影した一枚。諸和久地区の林道沿いに県の巨樹百選の看板があり、そこから少し入った杉林の中に立っている。見た瞬間に思わず声が出るほどの存在感。その神々しい姿に、ベコリと頭を下げた。
▶推定樹齢370年。何も語らず生きてきた370年という年月の重みを感じる時、この木のすごさと自然の不思議を知る。▶西臼杵には、このような巨樹がたくさんあると支庁の林務課長から聞いた。「ひむか神話街道」も来月に開通する。都市との交流人口も増えることだろう。西臼杵のどっしりとした本物の魅力をこれからも紹介していきたい。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

西臼杵の「元気印」紹介！

○若者サークル「ほっほほーらい」（高千穂町）



『ほっほほーらい』は、高千穂町の青年が、地域住民との親睦を深めるために結成した会。高千穂弁で「かってきまま」という意味で、自主性、積極性、意外性をテーマに、ボランティア活動や祭りなどに参加しています。

今回、（財）自治総合センターが宝くじの普及広報活動として行っているコミュニティ助成事業で太鼓と衣装を購入。秋祭りに向けて練習を重ねています。秋祭りでは毎年、高千穂町に古くから伝わる民謡「がまだせ節」「刈干切り唄」を現代風にアレンジして、唄と踊りを披露しています。*お問い合わせ先は、高千穂町教育委員会（TEL0982(73)1205 担当：興裕さん）まで。